

17年度全国地下水水質測定結果 環境省



環境省は平成18年12月21日付けで、平成17年度に国と地方公共団体が実施した全国の地下水水質測定結果を取りまとめました。

地下水質の全国的な状況の把握を目的とした概況調査においては、調査を実施した井戸4,691本(16年度:4,955本)のうち、環境基準を超過した項目が1項目以上あった井戸は、全体の6.3%にあたる297本(16年度:387本)にのぼることが確認されました。

また、項目別の超過率としては、硝酸性窒素・亜硝酸性窒素が4.2%と最も高い結果となりましたが、16年度の5.5%よりは減少しています。次いで、砒素の1.8%、ふっ素の0.8%、鉛の0.4%、トリクロロエチレンの0.3%、シス-1,2-ジクロロエチレンの0.2%、テトラクロロエチレンの0.2%の順に多くなっています。

汚染が確認された後の監視を行っている定期モニタリング調査の結果では、調査した5,048本(16年度:5,170本)のうち1,950本(16年度:1,893本)の井戸で環境基準超過が確認されています。項目別の環境基準超過本数では、こちらも硝酸性窒素・亜硝酸性窒素の651本(16年度:637本)が最も多くなっています。

当社では排水、飲料水の分析はもちろん、地下水の水質測定においても、上記項目も含めてさまざまな項目に対応しております。お気軽にご相談下さい。

資料 2006年12月21日付 EIC ネット

水質分析箇所 清水圭介